

## 山川地域住民説明会質疑等の概要【徳光小学校区】

○日時：平成31年2月26日（火） 19:00～20:30

○場所：徳光公民館           ○参加者：47人

**参加者）**大成小の校舎は築50年程度だが、耐震は大丈夫か。市町村合併後、柳田小と丹波小は校舎を建て替えているが、なぜ、山川地域に新しい学校を新築しないのか。

**事務局）**耐震補強工事については、平成27年度にすべての工事が完了している。

丹波小は当時1番古い校舎だったので、平成22年度に改築した。柳田小は建て替えではなく大規模改造工事を行っている。

山川地域については、施設一体型小中一貫校の新築についても検討をしているが、実現には時間がかかる。教育委員会としては、複式学級が増えていく中で、まずは小学校の複式学級を解消したいという思いで、先に小学校の集約について協議を進めている。新しい学校を造ることについても御意見があればいただきたい。

**参加者）**早く複式学級を解消したいという説明だが、複式学級は良くないのか。大きい学校では、いじめや不登校があると聞く。徳光小では目が行き届き、地域の方が子どもたちをしっかりと育てている。小規模校も良いところがあると思う。

新築に10年以上かかるというが、未来ある子どもたちを大事に思うなら、それから進めていくべきではないか。だめだったら、今のやり方をしていけばいい。

複式学級はデメリットがあるかもしれないが、徳光校区では、最後の1人までこの地域で育てていきたい。また、これ以上、徳光校区を過疎やさみしい地域にしたくない。

市は、「望ましい学校」「適正な学校規模」と言うが、国が定めたものであって、それに届かない学校を望ましい学校にしたいとしか聞こえない。上手く伝わるような優しい言葉で説明してほしい。

高齢者の方も子どもたちと一緒にこの地域をつくっている。徳光校区に学校がなくなれば、将来、帰ってくる人たちは、他の所に住むのではないか。

「皆さんの意見を反映していきます」と説明していながら、前回の説明会で、「スクールバスでなく、公共のバスを利用すればどうか。共働き家庭の子どもが乗り遅れたら、学校に行けなくなる」という意見を言ったが、全然反映されていない。教育委員会主導で進んでいるような気がする。

**事務局）**複式学級が悪いというわけではない。小規模校の良さも十分分かっている。しかし、複式学級の教員は、授業で苦勞している部分もある。説明会でも適正規模校、小規模校の良いところ、悪いところの話をしてきた。

学級数が増えると教員の人数が増えるので、進み具合によって学級を分けて授業ができたり、専門的な教員による指導ができたり、子どもたちの学習方法の選択肢が増え、子どもたちの力を更に伸ばす選択肢が広がる。そういう意味では、ある程度の規模の人数がいたほうが望ましい。また、競争力や切磋琢磨することは、これからの社会を生きる力に繋がっていくと思う。自分と違う考え方にたくさん触れる機会があれば、協力し合いながら、自分の持っている個性が更に広がっていく。今以上に良くなっていく可能性や選択肢が広がり、子どもたちの良さを生かしていけるのではないかとということで、複式学級の解消を考えている。

「学校がなくなると、地域に帰って来る人が減る」という話を聞くが、「その地域に住みながら、

ある程度の規模の学校に通うことができるから、その地域に帰って来た」という話も聞くことがある。地域によって違うのかもしれないが、一概に学校がなくなると子どもたちが減るということではないと思う。

前回「路線バスを使って通学してはどうか」という意見をいただいてから、いろいろ検討し、先進地の調査もした。路線バスを使うと融通が利かず、学校の校時が変わった時に、バスの時間が合わないという課題があるようだ。市でバスを走らせるのか、委託になるのかまだ決まっていないが、ある程度融通の利く運行をしたい。南さつま市では、バスの運転手と保護者が連携を取れるようにしていて、乗り遅れはないという話を聞いた。その辺をいろいろ勘案したい。ただ、路線バスを使ってはどうかという意見については、今後とも調整会議でもいろいろ意見を出しながら協議をしていきたい。

**参加者)** 開聞地域や指宿地域の再編の進み具合はどうか。同じように2021年を目標にしているのか。

**事務局)** 開聞地域は一部の地域で保護者説明会の開催自体に反対する意見があり、保護者説明会が開催できなかった。開聞中学校区会議は、11月末に2回目を開催し、地域が望む形での説明会をしていこうということで、1月末に「保護者説明会」ではなく「保護者との意見交換会」を行った。開聞地域では、現時点では、山川地域と同じ目標を持っているが、山川地域より協議は進んでいない。「教育委員会が勝手に進めている」と言われることがあるが、地域の皆さんからの意見を聞きながら進めていることを理解してほしい。

北・南指宿中学校区では、柳田小が中学校に進学するときに北中と南中に分かれることが課題と考えて協議してきた。保護者説明会では、柳田小の卒業生全員が北中に行った場合と、南中に行った場合のシミュレーションを示した。その後の調整会議では、「柳田小学校区を地区で分けて、半分は丹波小から南中へ、半分は柳田小から北中へという方法もあるのではないか」という意見もあり、研究しているが、学校区を分けることはたいへん難しい作業である。「魚見小は小規模校だが、柳田小の方向が決まらなると先に進めない」という意見もある。ある程度事務局で素案やたたき台を作って、まずは、地区で協議していく必要があるのではないかと考えている。

西指宿中学校区では、池田小は完全複式なので、複式学級の解消を目指したいと考えている。しかし、平成28・29年度に地域の方々と会議をしていた当時、学校再編は必要ないと言われた経緯がある。教育委員会では複式学級の解消が必要だと考えているので協議を続けている。昨年12月に開催した2回目の西指宿中学校区会議では、「やはり学校再編も考えていかないといけないのかな」という意見も出たが、今和泉小と池田小が集約しても適正規模にはならないので、「少し範囲を広げたら指宿小がある」という話も出ている。また「2校と指宿小の集約を考えるのであれば、中学校の集約も考えてはどうか」との意見もある。小学校、中学校の集約を同時に行うのは大変だが、今後、教育委員会で素案を示して、協議していきたい。指宿地域においては、「いつまでに」という方針は決めていないが、逆に地域の方から早く案を見せてほしいと言われている。

**参加者)** 大成小の場所に4校を集めるということが決まった理由の一つに、小中一貫教育がある。周辺に文教施設も多いということもあるが、これから来年度にかけて、教育課程等を検討していくことになっている。市の音楽祭や水泳記録会が中止になったと聞いている。いろいろな連携を取ったりする機会、子どもたちにいろいろな体験をさせる機会も少なくなっていく中、市は小中一貫教育をどう考えているのか。近くに集めただけで計画性がないと、よい教育ができないと思う。具体的にどのように実行し、いつ公表できるのか。どういう学校で、どういう教育をしていくのか。具体的な内容を公

表した後に議会に諮るのか。議会で年度だけ先に決めて、案を出すのか。大きな学校に集まると、いじめがあったり、授業を上手く受けられない子も出てきそうなので、そういう組織づくりがどうなっているか知りたい。

集約する前の年に学習指導要領が変わる。教員は忙しくなり、子どもたちの相手ができず、自分たちの業務だけになってしまい、子どもたちに目が届かない。そこからいじめや不登校が発生してくると思うので、その辺の説明がいつできるのか。小学校と中学校が近くなった分、より効果的な教育ができるような計画を立てて、まず、示してほしいと思っている。

**事務局)** 小中一貫教育と学校集約とは別である。小中一貫教育は教育委員会の施策であり、各学校で準備しながら、平成32年度を目標に完全実施する予定である。小中一貫教育は、小学校6年間と中学校3年間の9年間を通して、中学校区ごとに、同じ目標を持って教育していこうということである。特に小学5、6年生、中学1年生の3学年に重きを置きながら、いわゆる中1ギャップと言われるような部分を無くしていける教育を目指して進めている。例えば、5、6年生と中学1年生とで同じような活動するとか、中学校区の中でそれぞれ合唱コンクールや学習発表会、音楽発表会等を合体した形でやっていくというようなことも含めてできるのではないかと考えている。先生方もいろいろ計画を立てながらやっているところであり、同じような取組を一緒に行うことで業務改善になったりしている。また、小学校と中学校の先生方が話をして仲良くなることで、子どもたちも不安なく中学校に行けるような組織づくりを来年までに準備して、本格実施につなげたいと思っている。

**参加者)** 具体的な案はいつ示せるのか。小中一貫教育が始まるのが平成32年度なら、予算を組むのは前年度だと思う。私たちが知らない間に決まってしまう。新しい学校ではどのような教育を行うのか知りたい。どの位の頻度で小学校と中学校の交流があるのか、いじめや不登校がどの位減るのか知りたい。自分の子どもたちが新しい環境の学校に行くことになるので、先生たちがどのようにフォローしてくれるのか不安。そういうことをしっかり提示してから、集約する年度を決めてほしい。

新しい学校ができるということだが、市が行っている地域学校協働活動というものも盛り込めるのか気になっている。そういうことを提示してから、開始年度を決めてほしい。

今後のスケジュールに、住民説明会や保護者説明会の項目がない。このスケジュールどおりであれば、今回の説明会が最後となって、具体的な内容を知らないまま決まってしまうことになる。それはまずいのではないか。学校再編に賛成の人もあるし、反対の人もあるので、「どういう状況で、どのように決まった」とか、「こういう案を持っている」とか、適宜情報開示することを計画に入れて、どのタイミングで発表するのか、早めに説明するよう検討してほしい。

**事務局)** 説明会の開催については、調整会議でも意見をいただいているので、検討したいと思う。これまで開催してきた住民説明会で、具体的な内容についての説明がないという意見をいただいております。協議の進捗状況等の説明は大切だと思っている。ただ、2〜3か月に1回とか説明会を開催しても、お互いに大変だと思う。どのような形で周知ができるのかについて、調整会議でも協議したいと思う。

社会教育課の事業については、直接的に学校と関係がある部分ではないが、放課後児童クラブなどと一緒に協議していきたいと考えている。

教育課程など、「どのような教育をしていくか」という部分の協議については、当初スケジュール案では1年間の協議期間を設定していたが、「もう少し時間がほしい」という意見があり、協議の期間を延長した。この協議はこれから入る部分なので、いつまでに提示するというのは言えないが、他の町でどのように進めているかは調査している。先日研修に行った学校では、学校再編の1年前には、新

しくスタートする学校の教育課程を作っていた。教育課程のことについては、学校教育課を交えて協議していきたいと思う。

**参加者)** スクールバスは、利永小は1台で乗れると思うが、徳光小、山川小は2台ずつになると思う。その場合、5台同時に走らせることになるのか。それとも、利永小から徳光小経由を2台と山川小から2台とするのか。

**事務局)** 児童数でバスの台数がどうなるのかについては調査している。利永小は1台、徳光小と山川小は2台必要だということが分かっている。また、バス会社にもいろいろ聞いており、これだけ走らせるといくらなのかという話もしている。先進地の調査もしている。現時点ではどうなるか分からないが、他の町では朝2往復、帰り2往復しているところもある。そうすると先の便に乗るのか、後の便に乗るのかについても考えなければならない。予算的な部分もあるので、財政課とも協議をしていく必要があると思っている。

**参加者)** 現在は6・3制が基本である。小学生は、低学年と高学年という考え方があるが、教育課程を考える中で、低学年と高学年を別々にする案はなかったのか。メリットがあればそういう検討をしてもいいと思うがどうか。

**事務局)** 6・3制ができたのが戦後すぐのことで、制定からもう70年が経過している。その頃と比べると子どもたちの体の成長が2年位早くなっていて、今の5年生が当時の中学1年生ぐらいと言われている。小中一貫教育では、小学校と中学校が一緒になって、4・3・2で分けるというような取組をしている学校もある。1年生から4年生までを前期、5年生・6年生・中学1年生を中期、中学校2年生・3年生を後期として、中期では中学校に上がる段階でのギャップを緩やかにし、後期では高校受験を見据えて専門的な教育をしていこうという教育の考え方もある。今、市が目指しているのは、建物が一体型となった小中一貫教育でなく、建物が別々のままで行う小中一貫教育を考えている。ただ、一貫教育をする中で、5年生、6年生と中学1年生との繋がりはすごく大事にしている。例えば、開聞地域では、小中一貫教育の一環として、開聞小と川尻小の5年生、6年生、開聞中の1年生が一緒に集まって郷土芸能の授業を受けたり、開聞地域にある12の郷土芸能保存会の中からどこかの保存会の方に学校に来ていただいて、郷土芸能を教してもらったりしている。このように、小中一貫教育では、6・3制とは別に4・3・2制などの組み合わせもできるようになる。

現在は、「学校が離れていても、できることからやろう」ということで、それぞれの学校が集まって一緒にできることを計画してやっている。また、今、来年度の計画を立てている。例えば、「中学校の先生が小学校に行って、どの時期にどんな授業をしようか」とか、小学生が中学校に行く計画を立てて、来年の教育課程に載せて実施できるような形で計画を進めている。現在、何校か交流しているところはあるが、平成32年度までにはできるように準備をしているところである。

**参加者)** 説明会の質疑応答の内容等を広報紙やネットで配信してほしい。市民が見られるようにすれば、いろいろな意見も出てくると思う。検討してほしい。

**事務局)** いただいた意見等は公表したいと思う。アンケート調査等は掲載しており、調整会議の会議結果も毎回委員の方に確認しながら公表している。住民説明会の報告は、冊子にまとめたりはするが、ホームページでの公表は今までしてこなかった。個人情報に注意しながら、公表していきたいと思う。

以上